

平成 31 年 3 月 12 日  
記者発表資料

# 県補助金を活用した燃料電池フォークリフトが初めて導入されました！

県では、水素エネルギーの普及に向け、燃料電池フォークリフト導入に対する補助制度を設けています。このたび、制度開始後、初めて補助金を活用した燃料電池フォークリフトが導入されましたので、お知らせします。

製造品出荷額が全国2位の本県は燃料電池フォークリフト普及のポテンシャルを有しており、これまで補助を行っている燃料電池自動車に加え、燃料電池フォークリフトの普及拡大にも積極的に取り組み、水素社会の実現を目指していきます。

なお、使用者である大陽日酸株式会社では、今後、事務所構内に設置した太陽光パネルで発電した電力を利用して再エネ水素ステーション※を稼働し、得られたCO2フリー水素を燃料電池フォークリフトに充填して運用する予定です。大陽日酸株式会社の事業についての詳細は別紙をご参照ください。

※再エネ水素ステーションは、太陽光発電などの再生可能エネルギー由来の電気で水を電気分解し、水素を製造する設備。

## ○ 補助金交付決定内容

【事業者】 トヨタエルアンドエフ神奈川株式会社(リース会社)

【交付決定額】 500万円

【使用者】 大陽日酸株式会社

【使用場所】 大陽日酸株式会社川崎水江事業所(神奈川県川崎市川崎区水江町3番3号)



## 問合せ先

神奈川県産業労働局産業部エネルギー課  
課長 清水 電話 045-210-4101  
次世代自動車グループ 笠井 電話 045-210-4133

2019年3月12日

## 当社川崎水江事業所におけるCO<sub>2</sub>フリー水素充填システム設置に関するお知らせ

大陽日酸株式会社（社長 CEO：市原 裕史郎）は、環境省より補助金の採択を受け、当社川崎水江事業所に、再生可能エネルギーを利用したオンサイト型CO<sub>2</sub>フリー水素充填システムを設置するプロジェクトの実行を決定いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. プロジェクト概要

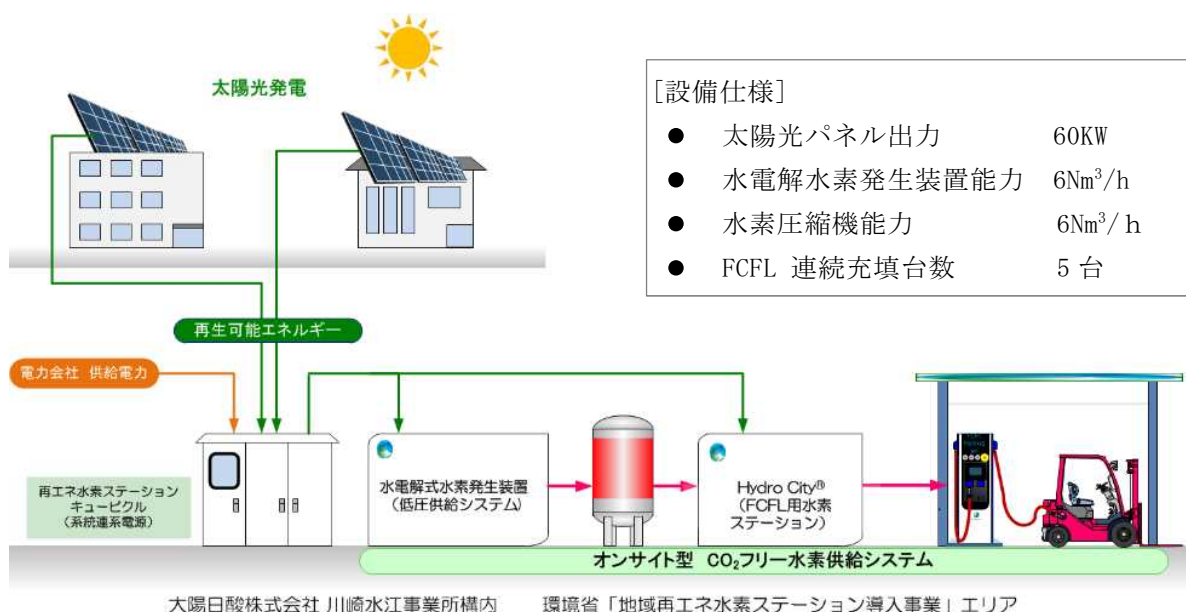
川崎水江事業所は、川崎市臨海部工場エリアに位置します。本プロジェクトでは、川崎市が推進する「水素社会の実現に向けた川崎水素戦略」のもと、中規模オンサイト型充填基地のモデルとして、太陽光発電による再生可能エネルギーを活用し、燃料電池フォークリフト（FCFL）の事業所内運用まで、一貫したシステムを構築いたします。

FCFL用の再エネ水素ステーションは、環境省が公募した「平成30年度 二酸化炭素排出抑制対策事業等補助金（再エネ水素を利用した社会インフラの低炭素化促進事業『地域再エネ水素ステーション導入事業』）」を受けて建設・設置し、2019年12月の完成を予定しております。

また、運用するFCFLについては、トヨタエルアンドエフ神奈川株式会社殿が環境省の「水素社会実現に向けた産業車両等における燃料電池化促進事業」および神奈川県からの助成を受けたFCFLをリース契約し、事業所内で運用いたします。

#### 2. システム概要

川崎水江事業所内の社屋屋上に設置する太陽光パネルから得られた電力を利用し、水電解式水素発生装置にて発生させた水素ガスを、事業所内のFCFL動力源として使用いたします。



### 3. 今後の予定

「地域再エネ水素ステーション導入事業」では、再生可能エネルギーによる CO<sub>2</sub> フリー水素の発生から FCFL への充填・運用までを行い、エネルギー起源二酸化炭素の抑制に貢献するとともに、地域社会への水素の普及拡大、社会受容性向上の一環として、本事業を活用していきます。

本件に関するお問い合わせ  
大陽日酸株式会社  
東京都品川区小山 1-3-26  
管理本部広報・IR部 鎌田・田代  
TEL:03-5788-8015